

最期の時間をより良く、より長く保つため、
ご本人やご家族との対話を何より大切に。

大 学を卒業後、東京都内の大学付属病院に在籍しているときから、縁あってこのクリニックで週に1~2回診療を行ってきまして、大変やりがいを感じる日々を送っています。

在宅医療の場合、患者さんの最期をどれだけよい時間にするか、どれだけ長く保てるかがキーとなります。その実現のために必要なことは、「対話」に尽きると私は思っています。患者さんやご家族との丁寧な対話こそが、ご本人が望む時間を長くつくることにつながると、私は確信しています。



医療法人社団友健会
水戸ホームクリニック院長

原 幹嗣 先生

PROFILE

埼玉県出身。過疎地域で育った経験から、地域医療にかかわることを目指し、金沢医科大学に進学。卒業後は、日本大学泌尿器科に勤務。在職中から、水戸ホームクリニックの診療にも携わり、2021年に院長に就任。

水戸ホームクリニック

〒310-0064 茨城県水戸市栄町1丁目10-10

TEL.029-239-3350

<https://mitohome-cl.jp>

当院には、看護師3名、事務職4名が在籍していますが、それぞれが役割を果たしながら、全員で治療に関することから、患者さんの背景や性格、好みなどの情報を共有しています。そういった情報をもとに対話を重ねられることが、当院のいちばんの強みだと思います。これからも、チームで一丸となり、患者さんの想いにできる限り沿う医療の実践を、目指していきたいと思っています。